

平成30年11月 5日発行

ふる里からの「ふくろうだより」

11月号（霜月）

発行者： 社会福祉法人 隆明会
 デイサービスセンター ふる里
 長崎県 大村市 鬼橋町 1416番地
 TEL (0957) 27-4500
 FAX (0957) 27-4501
 ホームページ検索： [デイサービスセンターふる里](#)

『決定しました！特別養護老人ホームがふる里に！』

大村市から、保健福祉計画第7期の事業で『地域密着型老人介護福祉施設（通称：ミニ特養）』の公募があり、10月4日付で大村市長様から決定の交付を頂きました。社会福祉法人隆明会の認可から20年目になります。これまで特養の公募に2回応募して悔しい思いをしました。今回は、ふる里が積み重ねてきた、デイサービス、ケアプラン業務、在介の地域活動、昨年開設した自立支援デイサービス（通称A型）の事業の成果と、職員の在職年数の長さ、利用者とそのご家族、市民の皆様方のふる里に対する期待等々が、大村市にも伝わっていたのでしょうか。隆明会へミニ特養の認可は、大村市が高齢者福祉を推進する時、地域と密な関係にある事業所で、地域を中心として大村市全体を“福祉のまち”として確立するためにふる里に期待を寄せて下さったものと思います。

ここで、『地域密着型老人介護福祉施設（通称：ミニ特養）』について簡単に説明します。まず、“老人介護福祉施設（通称：特別養護老人ホーム）”は、社会福祉法人に認可された法人でないと設立できません。社会福祉法人隆明会は、それだけ公共性の高い法人であるのです。今回は、“地域密着型”で認可されたので29名の定員で、大村市に住居票があり、65歳以上の方（特例があります）、介護認定で要介護3から要介護5の方が対象になります。認可されたミニ特養の名称は、“湖畔の宿 ふる里”と名付けました。“ふる里”の名前は、皆様の信頼になっています。そして、葛城の堤が四季織りなす景色に心癒して頂こうとの思い、さらに“宿”ですので職員の心づくしを味わっていただき、“湖畔の宿 ふる里”での生活を謳歌していただきたいとの願いで名付けました。“湖畔の宿 ふる里”の中に、ショートステイできる部屋もできます。家族の方々の介護に対する気持ちが和らぎ、生活にゆとりとご家族の絆が強まればと思っています。

“湖畔の宿 ふる里”は、鉄筋コンクリートの建物です。完成は、平成32年4月オープンになります。今月から数えて1年と半年の期間です。短い時間の中での建設になりますが、その間、申請業務、スタッフの募集、職員教育、施設整備に力を入れ、ふる里らしさを築いていく所存であります。世界に類のない素晴らしい特色を持ち、快適な生活が営まれる『地域密着型老人介護福祉施設“湖畔の宿 ふる里”』の建設と運営にどうかご期待ください。これから完成までに、何かとお願いすることがあると思いますが、ご協力、ご支援いただきますようお願い申し上げます。 From センター長 森 隆敏

10月行事「第20回 ふる里ミニミニ運動会」

今年も10月行事では、『ふる里ミニミニ運動会』を16日（火）・17日（水）・18日（木）の3日間行いました。開会式では、センター長の挨拶から始まり恒例となる運動会の歌を披露!!職員だけでなく、知っている利用者の方々も一緒に歌われ、とてもいい雰囲気での開会式となりました。続いて、紅白のチーム代表者からの選手宣誓をして頂き競技のスタートです。まず、初めの準備体操では各曜日で体操のお兄さんによるラジオ体操、利用者さんの数名の方が立って一緒に体を動かされ、運動会への意気込みが感じられました。

センター長挨拶 & 運動会の歌♪



★チーム代表による選手宣誓★



♪職員・利用者の方による準備体操の様子♪



さあ、競技の始まりです！プログラム1番「パン食い競争」今年から新たに考えられた競技で、各チーム2名ずつの計4名で行う競技です。新たな競技なのですが、カツラを被る事だけは変わりません。☆記念撮影☆の後、笛の音でスタート！パンを吊している紐の長さがバラバラで、その先に付いているパンを口にくわえるか、肩で挟むかしてパンを取りゴールを目指してもらいます。背の高い方、低い方、車椅子方と一緒にできるように工夫してみました！皆さん口を大きく開けて、一生懸命！！周りからは、応援の声と何故か笑い声が…(笑) 普段杖を使われる方でも、つくことを忘れて走られるくらい大変盛り上がりました。



次は、プログラム2番!!恒例「飴食い競争」。各チーム1名ずつの計2名で行う競技。もろぶたの中にメリケン粉、その中に隠れている飴を口だけで食べる競技です。上手に飴を見つけ食べる方や豪快に顔をつけ真っ白になる方もいて、その表情に周りで見ている皆さんも大爆笑でおおいに盛り上がりました。



そしてプログラム3番、職員による「紅白応援合戦」。各チームの職員はこの日の為に相手チームにバレないように練習し、本番では、楽しい踊りや応援練習を各組とも趣向を凝らし、笑いの中で盛り上がりました、併せて団結力を深めることができました。



白組

赤組



プログラム4番、利用者団体戦は、「玉入れ!!」。しかし、この玉入れには“なんと”女神が!中央に女神役の職員がいて、そこに玉を入れていくという競技。夢中になって玉を皆さんは投げられていて、とても盛り上がりました。



プログラム5番、職員競技は、「早く摘んでレッゴー!」。5と8の書いてあるカードを選手がめくり、めくったカードの数分の小豆を皿から皿へ箸で摘んで移す。その後ボールを股で挟み中庭を1周して次の選手にバトンタッチするリレー方式で、どちらが早くゴールするかを競う競技。皆様からは、小豆を移すのは少し見えにくかったようですが、走り出したとたんに「がんばれーがんばれー」と沢山の声援を頂き盛り上がっていました。



～ 結果発表 ～

1日目(火曜日) 赤組優勝!



紅 白
対
358 313



2日目(水曜日) 白組優勝!



紅 白
対
331 347



3日目(木曜日) 白組優勝!



紅 白
対
365 387



昼食の大人様ランチ

昼食は、運動会恒例の大人様ランチ。たくさんのおかずが用意され、種類の多さにとても驚かれました。大皿の真ん中に万国旗が立っており、運動会の雰囲気も凄く感じられました。皆さん旗にも興味を示され「それはどこの?どこの国の?」と、職員に尋ねたり、お仲間同士の会話の種にもなっていました。食事が始まると、皆さん「美味しい〜♪」と、とても喜んで食べていらっしゃいました。食後に万国旗を集めておられる方もいらっしゃいました。また、その万国旗を運動会で応援をされる方もおられ、その姿に私たち職員一同、本当に嬉しい気持ちにさせていただきました。

1日目(火曜日) 2日目(水曜日) 3日目(木曜日)



From 行事担当 小川 晃子 木戸 美恵

高齢者自立支援センター ふる里

【高齢者自立支援センターふる里】とは…

介護認定を受けておられない方(総合事業対象者)と要支援1及び2の方を対象とした新事業の高齢者活動支援サービス事業(A型)を平成29年4月から始めました。名称は「高齢者自立支援センターふる里」といいます。

生涯、健康で安全・安心な自立した生活が送れるように支援していくことを目的とし、専門的な職員(自立支援プランナー)がサポートいたします。ご興味のある方は、いつでもどうぞ。ご連絡をお待ちしております。



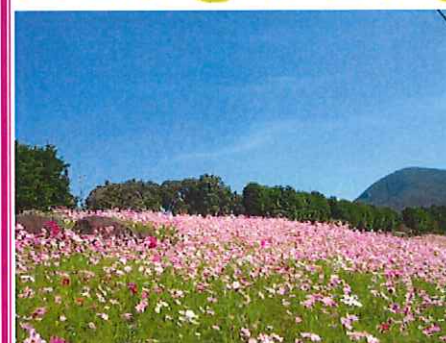
十一月の行事予定

◆ふる里11月行事『人間すごろく♪』
20日(火)・21日(水)・22日(木)

- ◆生花教室 ~山崎弘子先生~ 6日(火)・23日(金)
- ◆書道教室 ~中村朱実先生~ 1日(木)・26日(月)
- ◆おはなしの部屋~鐘ヶ江先生他~ 29日(木) ※1
- ※1 ふる里おはなしの部屋の時は、午前中入浴となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。
- ◆押し花教室 ~中村寿美子先生~ 27日(火)
- ◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後(7・14・28日実施予定)
- ※2 おしゃれサロンは、先生の都合によりしばらくお休みいたします。



今月の作品



今月より、ふくろうだよりの作成を行うようになりました末永です。宜しくお願い致します。左の写真は、大村市野岳町にあります「大又農園」の写真です。真っ青な空と緑の山々のふもとの綺麗に咲いているコスモスの素敵な風景だったので、皆様にも見ていただきたく掲載いたしました。 編集後記 末永 直己